

特集

資産運用におけるオルタナティブデータ活用の現在と今後

オルタナティブデータのエンゲージメントへの活用 —資本コストGAP分析のエンゲージメントへの活用と統合報告書の マテリアリティ評価について—

野崎 真利 CMA

田代 雄介 CMA

岩田 雄一郎 CMA

目 次

1. はじめに
2. 資本コストモデルの概要
3. 資本コストのGAP分析
4. 統合報告書のマテリアリティ評価
5. おわりに

東証による「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」に関する要請がきっかけとなり、企業は資本コストをどのように把握すべきか、また資本コストを意識した経営の推進をどのようにすべきかが、大きな論点となっている。本稿では、残余利益モデルを用いた資本コストの推定方法を提示し、かつその推定値を財務・非財務含む様々な要因に分解することで、企業との対話の際に企業の強み・弱みを見える化する手法を提示する。さらに、オルタナティブデータの活用事例として非財務の中でも定性的な情報を多く含む統合報告書のマテリアリティ評価を行い、それを集約したスコアが資本コストの低減に寄与するとの試行的な検証結果を報告する。



野崎 真利 (のざき まさとし)

三菱UFJトラスト投資工学研究所 研究部 上席研究員。2002年東京大学大学院理学系研究科博士課程修了、博士（理学）。同年4月に三菱UFJトラスト投資工学研究所入社。



田代 雄介 (たしろ ゆうすけ)

三菱UFJトラスト投資工学研究所 研究部 主任研究員。2011年東京大学大学院情報理工学系研究科博士課程修了、博士（情報理工学）。同年4月に三菱UFJトラスト投資工学研究所入社。



岩田 雄一郎 (いわた ゆういちろう)

三菱UFJ信託銀行 資産運用部 先端金融工学室 室長。2001年早稲田大学政治経済学部卒業、同年4月に三菱信託銀行入社（現・三菱UFJ信託銀行）。2010年一橋大学大学院国際企業戦略研究科修士課程修了。